

# 健康局におけるアルコール健康障害対策の具体的内容

参考資料5

## ○啓発

健康情報サイトである厚生労働省のe-ヘルスネット等のウェブサイトを通じた普及啓発を実施している。

## ○健診・相談

健康増進事業費補助金にて、壮年期からの健康づくりと生活習慣病の予防と早期発見、早期治療を図るため、市町村が行う健康教育、健康相談、健康診査等の事業に対し、国庫補助を行っている。

なお、「標準的な健診・保健指導プログラム」においては、アルコール使用障害スクリーニングの結果、アルコール使用障害が疑われる者には専門医療機関への受診につなげることが推奨されており、その周知を図っている。

## ○自治体への働きかけ

たばこ・アルコール対策担当者講習会を開催し、地方自治体等におけるアルコール健康障害対策担当者に対して、アルコール健康障害の基礎知識や最新の動向等について講習を実施している。(例年5月頃に実施)

## ○研究

循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業(厚生労働科学研究費補助金)『喫煙、飲酒等生活習慣の実態把握及び生活習慣の改善に向けた研究(令和2-4年度)』

- ・若年者や成人(女性)における飲酒状況の実態把握
- ・減酒支援の効果検証

# 第1期アルコール健康障害対策推進基本計画（重点課題）について

## 1. 飲酒に伴うリスクに関する知識の普及を徹底し、将来にわたるアルコール健康障害の発生を予防

<p>目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 飲酒に伴うリスクに関する知識の普及を徹底することにより、             <ul style="list-style-type: none"> <li>①生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合を、男性13.0%、女性6.4%まで減少させること</li> <li>②未成年者の飲酒をなくすこと</li> <li>③妊娠中の飲酒をなくすこと</li> </ul> </li> </ul>																																
<p>達成状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合             <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>ベースライン値 (H22年)</td> <td></td> <td>(H30年)</td> </tr> <tr> <td>男性</td> <td>15.3%</td> <td>⇒</td> <td>15.0%</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>7.5%</td> <td>⇒</td> <td>8.7%</td> </tr> </table> </li> <li>②未成年者（10代）の飲酒率             <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>ベースライン値 (平成22年度)</td> <td></td> <td>直近値 (平成29年度)</td> </tr> <tr> <td>中学3年男子</td> <td>10.5%</td> <td>⇒</td> <td>3.6%</td> </tr> <tr> <td>中学3年女子</td> <td>11.7%</td> <td>⇒</td> <td>2.7%</td> </tr> <tr> <td>高校3年男子</td> <td>21.7%</td> <td>⇒</td> <td>10.4%</td> </tr> <tr> <td>高校3年女子</td> <td>19.9%</td> <td>⇒</td> <td>8.0%</td> </tr> </table> </li> <li>③妊娠中の飲酒率（※出典：「健やか親子21（第2次）」の中間評価等に関する検討会報告書）              ベースライン値4.3%（平成25年度） →1.2%（平成29年度）</li> </ul>		ベースライン値 (H22年)		(H30年)	男性	15.3%	⇒	15.0%	女性	7.5%	⇒	8.7%		ベースライン値 (平成22年度)		直近値 (平成29年度)	中学3年男子	10.5%	⇒	3.6%	中学3年女子	11.7%	⇒	2.7%	高校3年男子	21.7%	⇒	10.4%	高校3年女子	19.9%	⇒	8.0%
	ベースライン値 (H22年)		(H30年)																														
男性	15.3%	⇒	15.0%																														
女性	7.5%	⇒	8.7%																														
	ベースライン値 (平成22年度)		直近値 (平成29年度)																														
中学3年男子	10.5%	⇒	3.6%																														
中学3年女子	11.7%	⇒	2.7%																														
高校3年男子	21.7%	⇒	10.4%																														
高校3年女子	19.9%	⇒	8.0%																														
<p>第1期における対応等に対する評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アルコール健康障害の予防に係る重点課題に関しては、未成年者や妊産婦の飲酒リスクに関する普及啓発や不適切な誘引防止などの取組により、未成年者及の飲酒率の低下、妊娠中の飲酒率の低下、男性の飲酒率（生活習慣病のリスクを高める量の飲酒）の低下が図られた。</li> <li>○一方、生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合について、男性では低下傾向にあったものの、男性、女性とも数値目標を達成することができなかった。特に、女性に関しては、増加傾向に転じており、今後、女性の飲酒問題に関しては、さらなる啓発、地域や職域における取組など総合的な取組が求められる。また、未成年者及び妊娠中の飲酒に関してもゼロ目標を達成しておらず、引き続き対策が必要である。</li> </ul>																																